

さんむ景観通信 第4号

平成25年10月発行

山武市では昨年度から、山武市の景観づくりについて自由にワイワイと話し合ってもらう場として“景観ワイワイ広場”を開催しています。今回は17名の皆さんと「山武市の10年後の景観を実現するために」をテーマに意見交換をしました！

第4回景観ワイワイ広場の概要

【テーマ】 「山武市の10年後の景観を実現するために」

【日時】 平成25年9月8日（日）14時～17時

【場所】 山武市役所第6会議室

【開催内容】 ■第1～3回景観ワイワイ広場のふり返り

■活動紹介

- ・成東・東金食虫植物群落を守る会（岩瀬政広氏）
- ・NPO法人さんむ環連協（岩瀬幸博氏）

■ワークショップ

「山武市の10年後の景観を実現するために」について

- ・活動を通じて良かったこと、また課題を共有し解決策を考えよう！
- ・面白そう、参加してみたい取り組みを考えよう！



景観に関わる活動紹介

具体的なイメージを持ってワークショップで話し合えるよう、実際に景観に関わる活動をしている方に、「活動内容」や「活動をはじめるきっかけ」、「活動の経緯」、「困っていること」などについて、紹介していただきました。

成東・東金食虫植物群落を守る会

【代表者】 岩瀬政広氏 【発足】：平成5年

【活動目的】 国指定の天然記念物である群落を後世に残すための保護や啓発活動を行う。

【活動内容】 案内活動、夏休み子供教室、観察会、管理棟展示、ホームページ情報提供、植生・分布調査



NPO 法人さんむ環連協

【代表者】 岩瀬幸博氏 【発足】平成9年

【活動目的】 さんむの豊かな自然と里山に育まれた地下水を守る。

【活動内容】 里山保全整備活用事業、保全整備活動（全伐・間伐など）活用活動（サンブ杉マイ箸づくり・酒林づくり）不法投棄監視パトロール



活動紹介の質疑応答及び意見交換（概要）

◆食虫植物群落の駐車場の不便さ（狭さ）について

岩瀬政広氏：多くの方が訪れることで群落の環境にどのような影響が出るのかは想像がつかないが、交通の便が良すぎないのも「守る」事につながるのではないかと考えている。

◆運営上工夫していること（若い人たちの参加等）

岩瀬政広氏：活動は強制ではなく、できる時にやるというフランクなスタイルでやっている。若い人も入ってきているが、会員は少なく、これから先が不安ではある。

岩瀬幸博氏：会員のほとんどが会社員であり、土日だけの活動となっているが無理をしないスタイルでやっている。40代、50代の方が数名入ってきてくれたが、会員は減っていくので心配しているところである。

◆山武杉の現状及び植樹活動について

岩瀬幸博氏：溝腐病になってしまうと、山武杉の商品価値は大きく低下してしまう。全伐後は所有者に落葉樹や広葉樹の植樹をお願いしている。

◆その他参加者より挙げられた主な意見

- ・食虫植物群落については、観光と結び付けるのではなく守る活動をしていくことが一番だと思う。例えば群落地の近くにビオトープを作るなどすれば、良い教育になると思う。
- ・将来、子どもたちと自然の関わり合いがどうなっていくのかが心配な点であり、食虫植物群落などでも、子どもたちに向けた情報発信が出来たら良いと思う。 など

ワークショップでは「山武市の10年後の景観を実現するために」をテーマにグループごとに自由に話し合いました！

ワークショップでは、グループに分かれて「活動して良かったこと、また、課題を共有し解決策を考えよう！」、「面白そう、参加してみたい取り組みを考えよう！」の2つのテーマについて自由に話し合いました。以下では、その結果を整理しています。

グループ1

課題①

◆マナーの悪さ（ごみ捨て）によってできた良くない景観がある・・・



解決策①

◆山武市には誇れる景観（景観の価値）があるという事を認識してもらう

<出された意見（概要）>

マナーを守ってもらうために人々の意識を育てる（山武市では景観に対する人々の意識が低い）→市民の景観に対する気持ちが必要／きれいにしていないとゴミを捨てても良いと思ってしまう／川の草刈りをやってくれる人が少ない／景観ネットワークシステム（立札やパンフレット）をつくり、価値観を育む／歴史（目で見えるもの、心で見えるもの）を大切にす／関東ふれあいの道の看板つくる／木戸川は千葉県が管理しており、桜を植える場所がない（法律上の制限、所有権の問題）／木戸川の堤防沿いに道路・歩道をつくる

課題②

◆景観づくりに関わる様々な市民活動があるが、横の連携がない・・・



解決策②

◆景観ワイワイ広場を情報交換の場としてもっとうまく使っていけたらいい

課題③

◆市内全ての景観をボランティアでやるのは難しい・・・



解決策③

◆行政との連携や、地域活動の住み分けなどが大事ではないか

<出された意見（概要）>

山武市の景観の全てをボランティアでは維持できない／行政とボランティアと地域の役割分担による景観の維持／シルバー人材の有効活用／活動の音頭を取れる方が必要

課題④

◆実現するためにはどうしても予算がいる・・・



解決策④

◆景観で何を守るべきなのかという事を明確にしていかななくてはならないのでは

<出された意見（概要）>

外の人が知らない、地元の人知っている景観をリストアップすると、地域として何が誇れる景観なのかを明確にできる／税を投入するのであれば、どんな景観を守るべきかを明確にする必要がある／計画策定後の事業実行の予算はどうするのか／富士山が見える景観は、外から人を呼び込むきっかけになる

※その他の意見（概要）

景観づくりの意義（地域社会の環境のレベルアップ）／観光等で外部からいかに人を呼び込むか（富の創造）／市民活動の活性化／きれいなトイレ／南房総の事例から海の観光のあり方を学ぶ／生垣のある景観の維持管理には費用の問題もある／市民農園をつくり、外からくる方が活動しやすいようにする

グループ2

課題①

◆広く荒廃している山武杉の森を一気に解決するのは難しい・・・



解決策①

◆場所を決めて木を植える
◆状況を知ってもらうための体験

<出された意見（概要）>

染井吉野の他に、山桜なども植えてはどうか／山武杉の森全体を一度に再生させるのは難しいため、場所を決めながら植栽していく／山全体が荒れている（旧山武町）／市民交流サロンの活発化／山が好き人や土地所有者、親子連れ等を対象に山武杉の森の維持管理活動への参加を呼び掛ける／子供は昆虫採集や水遊びが好きなので、活動に取り入れたらどうか／杉山・竹林の利用／山へ入って遊べる場所があると良い

課題②

◆取り組む上ではボランティアの力が必要になってくる・・・



解決策②

◆観察会など、人があつまる機会をつくる

<出された意見（概要）>

観察会や見学に来た人に興味を持ってもらう／チェーンソーの資格取得講座を行っているNPOなどもある／日向の森で三千本の植樹が行われた／都会の人は自然に飢えている。彼らから山武を見るとワー!!と声をあげるほど良いところ。それを守らなくてはいけない。

課題③

◆人材の高齢化が進むため、若い人も参加してもらいたい・・・



解決策③

◆デジタルに親しんだ若い人にアナログな提案（体験）をする。

<出された意見（概要）>

今活動している人材も、10年経つと高齢化が進む／デジタルに慣れた若い人達にアナログな体験をしてもらう／地元に住んでもらう（廃寺・空き家の利用）。それには地元の方の協力が必要になる／子供の頃の感性を大人になっても持ち続けてもらいたい／将来の担い手育成のためにも、食虫植物群落などで子どもたちが定期的に学べる機会があると良い

※その他の意見（概要）

景観保全の基本としてはゴミの処理が大切／山武市内の名所などを市民に紹介できる広報を企画する／真行寺地区に埋もれてしまっている遺産（廃寺）の発掘整備／桜の名所づくり。電線のない道の両側に桜並木／作田川岸辺の整備／子供の遊べる水辺づくり／山武市全体を考えた交通路の整備／空き家対策により人口増加の方向へ

今後の予定につきましては、市HP、広報などでお知らせいたします。

皆様のご参加をお待ちしております。

（問い合わせ先：山武市都市建設部都市整備課 電話：0475-80-1191）